

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		どんぐりこどもの家 コッコレ				公表日 2025年 12月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		・1部屋MAX6名まで、それ以上のスペース取らうとすれば、他の部屋を使う必要が出てくる。今の人員配置では、不可能である。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・最大限努力はしているが、人員は不足気味であるので、指導員を確保するための努力はしたい。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・午睡時間に個別の部屋を使用。活動には使ってない。(人数が少ないので隣接)の半個室を利用。	・昨年通り、個別対応が必要な場合は、使えるように整えておきたい。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	NA2	・基礎は出来たので、来年度からPDCAサイクルに基づいた運営を展開したい。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	NA1	・満足度はしていただいているが、引き続きPDCAサイクルなどを用いたさらに満足度を向上させたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	・スタッフ会議などで、運営、行事などの意見の集約は行っている。	・別時間は取っていない。引き続きスタッフ会議などで意見を集約し会議を単なる連絡の場でなく指導員の意見を反映させた運営の場にしたい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	NA2	・必要だとは考えている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		・スタッフ会議や保護者会等機会を設け、研修を公開し、ペアトレを兼ねてこれからも研修を進めたい。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	NA2 ・支援計画の作成の場を設け、職員(指導員)から子どもの様子を聞きとつてほしい。	・児発管で原案を作成し出来上がった原案を指導員が閲覧、意見集約・追加校正等を行っています。 ・日々の記録の中から、状況等の把握に努めている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	NA2 ・計画的に行っている。子どもの(その日の)状況によって臨機応変の対応ができる。	・個に合った「指導のポイント」を個別支援計画作成時に作り、それに沿った個別支援計画を作成するようにしてゆきます。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	NA1	・現在、事業所で発達検査等ができる様「特別支援教育士」の資格取得に向け研修を中です。(検査資格C級取得)	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・様々なプログラムを必要なパターンで組み入れている。	・引き続き取り組んでまいります。	

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・主に集団活動になるが、子どもの状況や職員の人数によっては個別指導も出来ている。(行っている)	・引き続き取り組んでまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・打ち合わせ、振り返りをする時間はないが、気づきは共有できている。	・引き続き取り組んでまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・常勤で日々の記録はとっている。	・引き続き取り組んでまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	NA2	・児発管の業務です。担当者会に参加する前に報告をし、アドバイスを受けています。人員に余裕があれば、当事業所の場合は参加は可能。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	NA1	・何かあれば、相談する体制は出来ています。常に（月1回障害福祉課、保育園等）尋ねています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	NA2	・電話や「指導のポイント」などその都度情報共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	NA2	・就学サポートノート等で就学時の情報共有は行っています。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4	NAS1	・那珂川市そのものが、センターとの連携をすすめ
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	NA1 公園に行った時など他の子どもと間わりが見られるときもある。	・出来れば保育園の、発表会等への参加が出来ればいいなど考えています。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
保護者	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・スタッフ会議の時の研修を保護者の公開している。 ・懇談会で情報を共有している。	・ペアレントなど取り上げてしてはいませんが職員研修を公開することで、指導法や情報共有はある程度出来ています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	MA2	・契約時に詳しく説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		・
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	NAS1 ・保護者同士の交流会は行っている。兄弟・姉妹の交流は行っていない。	・年2回の保護者会は、引き続き行ってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	NA1	・コッコレ通信を発行し「情報共有と行事予定」に特化し知らせています。またLAINEを使ったお知らせ等も行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		・引き続き取り組んでまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	⁴	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	NA!	・マニュアルの整備は出来ています。それの基づき
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	NA1	・策定は出来ています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0	NA3	・契約時、必ず保護者とのヒヤリングで情報を共有しています。また、アセスメントシートで再確認をしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	1	NA4	・医師の指示は無いが、家族を通じて医師の指導を理解している。アセスメントシート等で把握済み。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・毎月避難訓練を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	NA1	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	NA2 ・必ずしも毎回全員で(ヒヤリハット)を共有はしていない。	・ヒヤリハットの報告書等は整備済み、指導員が「何がヒヤリハット」か感じ。報告書を作成するか基準をはっきりしたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		・「虐待とは何なのか」合わせて、報告してゆきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	NA1	・スタッフ会議の中で年何回かは触れています。これからも行いたい。